



ビデオ・スキャンコンバーター・ユニット

XPC-3

VIDEO SCAN CONVERTER UNIT

捕足説明書

この補足説明書には、XPC-3の取扱説明書に書かれていない、トラブルの対処法や、対策が書かれています。

申し訳ありませんが、XPC-3をご使用の際は、本書もご覧ください。

トラブルに関する補足説明

● 本体が非常に熱くなる。

XPC-3の本体は、使用中は非常に発熱しますので、かなり熱くなります。

触ったり、操作する時は、十分ご注意ください。

また、布や、タオルの上に置くなど、本体背面の通風口を塞ぐような状態で使用すると、「触れない」くらい熱くなることがありますので、そのような場所には設置しないで下さい。

● パソコンがディスプレイ(ここではXPC-3のこと)を認識しないため映像が表示されなかったり、画面がモノクロ(白黒)表示になる。

こういった症状は、XPC-3に電源が入っていない状態で、パソコンの電源を入れると発生することがあります。

この様な時は、XPC-3の電源を入れた状態(電源オン)で、パソコンを再起動してみてください。

● ビデオ出力機能を持ったパソコンでご使用のお客様へ

ビデオ出力機能を持った機種では640×480ドットの画面モードの時、水平同期周波数36kHzまたは35kHz(リフレッシュレート60Hz)で出力することがあります。この画面モードにはXPC-3が対応していませんので、「画面が乱れる」、「画面が点滅する」等の症状が発生します。

この様な時は、パソコン側(Windows側)の設定を変更し、ビデオ出力機能を使用しない、設定にしてください。

nVIDIA社製ビデオチップ(Rivaシリーズ)や、ATI社製ビデオチップ(RAGEシリーズ)を搭載したビデオカード、及びパソコンをご使用の方は特にご注意ください。

また、設定を変更しても症状が改善されない時(または設定を変更できない時)、は残念ながら、XPC-3に対応できないことがございますので、その際は、当社までお問い合わせください。

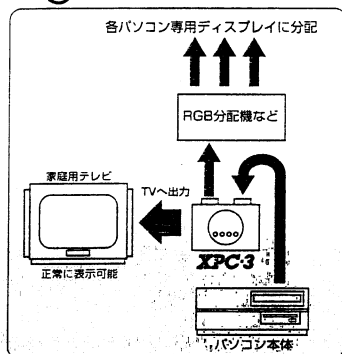
● XPC-3のPAUSE機能(静止機能)を使用すると、画面上部にノイズのような物が表示されることがある。

これは、本製品の仕様であり、残念ながら改善することができません。

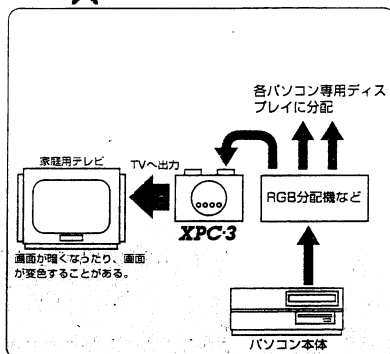
●パソコンのRGB映像をRGB分配機やRGBセクター(切り替え機)を経由してXPC-3に入力すると、テレビに表示された映像(XPC-3で変換された映像)の色が変色したり、画面が極端に暗くなることがある。

これは、本機を持つ特性であり、改善することはできません。
映像の鮮明度は低下しますが、RGB分配機やRGBセクター(切り替え機)をご使用の方は、以下の接続方法を参考にしてご使用下さい。

○ 弊社の推奨する接続方法



✕ 問題の発生する接続方法



●1024×768ドットの画面モードで使用すると映像が乱れる、または表示されない。

800×600ドットの画面モードなどでは映像が映るのに、1024×768ドットの画面モードで使用すると、テレビに映像が表示されなかったり、乱れたりすることがあります。

これは、パソコン側のリフレッシュレート(垂直同期周波数)の問題です。

XPC-3は1024×768ドットの画面モードで使用する時、リフレッシュレートは60Hzまでしか対応しておりませんので、リフレッシュレートが70Hz以上の設定になっていると、映像が正しく表示されません。

多くのデスクトップパソコンは、パソコンが工場から出荷される時点で、リフレッシュレートが70Hz以上に設定されていますので、そのままではご使用になれません。

リフレッシュレートを変更するには以下の手順で作業を行います。

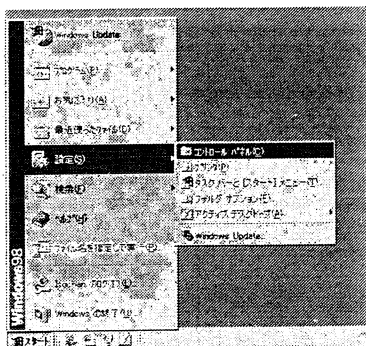
- ・パソコン専用ディスプレイのプラグアンドプレイ機能をオフにする。
- ・リフレッシュレートを60Hzに設定する。
- ・パソコン専用ディスプレイ(モニター)のドライバ設定を「SuperVGA1024×768」に変更する。

次ページから、Windows98でリフレッシュレートを変更する方法の例をご紹介しますので、参考にしてください。

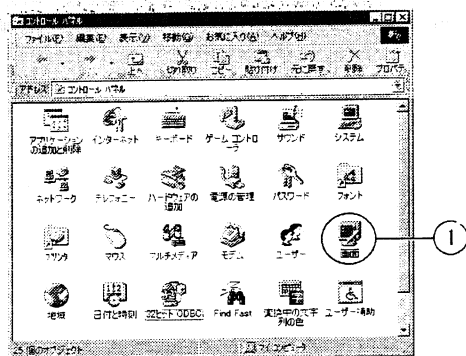
※Windows95は、文章の記述や、表示されるウィンドウのデザインは若干異なりますが、基本的な操作はWindows98と同じです。

Windows98でリフレッシュレートを変更する方法

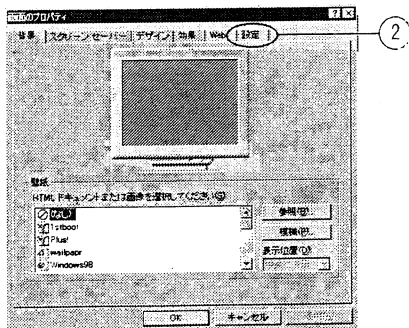
1. 「スタート」－「設定」から「コントロール・パネル」を選択してください。



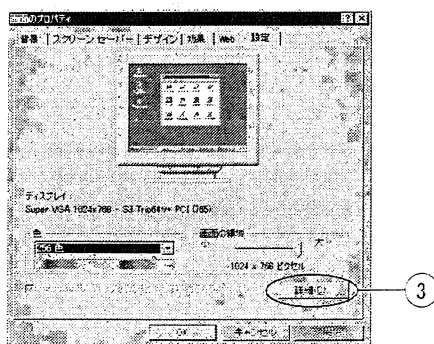
2. コントロールパネルが表示されたら「画面」のアイコン (①) をダブルクリックします。



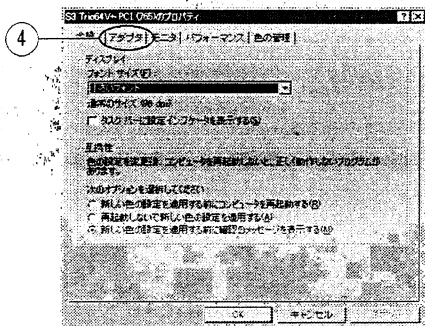
3. 以下のウィンドウが表示されたら「設定」(②) を選択します。



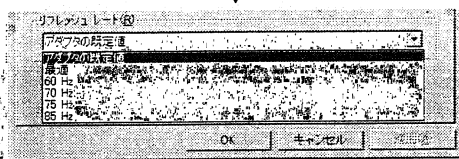
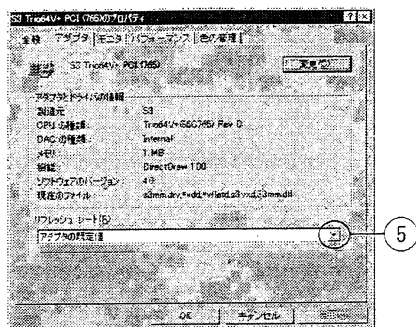
4. 「詳細」 (③) をクリックしてください。



5. 以下のウィンドウが表示されたら、「アダプタ」 (④) を選択してください。



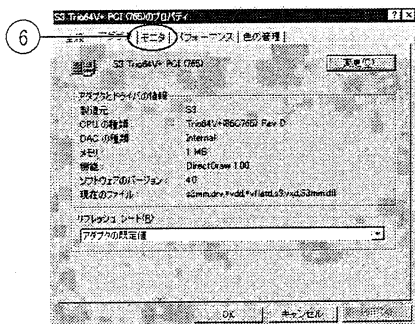
6. 「▼」(⑤) を押して「リフレッシュレート」の項目の中から「アダプタの既定値」を選択し、設定を変更した後「OK」をクリックします。(項目の中に「60Hz」、がある時は「60Hz」を選択して下さい)



「OK」がクリックされると、リフレッシュレートが変更される事を知らせるメッセージが表示されます。以降は、10ページの「15」と同じ操作を行って下さい。

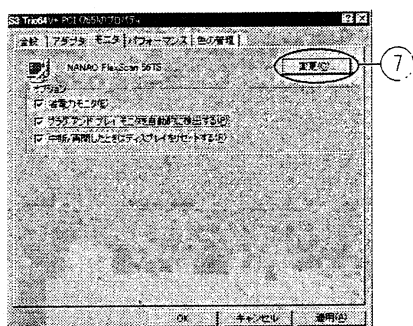
リフレッシュレートを変更できない時

7. もし「アダプタの既定値」の設定を使用しても「リフレッシュレート」がうまく変更できない、または「60Hz」の項目が無い時は、新しいモニタ(ディスプレイ)のドライバをインストールする必要がありますので「モニタ」(⑥)の項目をクリックし、モニタのインストール作業を行ってください(8ページ~を参照)。

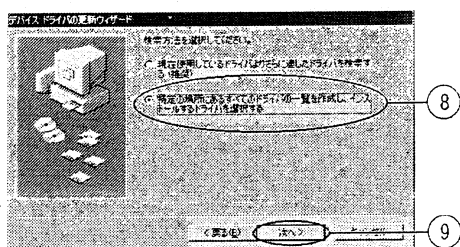


新しいディスプレイ(モニタ)のドライバをインストールする

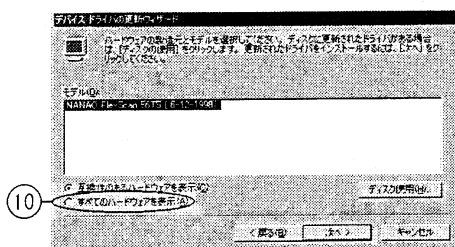
8. 「モニタ」の項目を選択すると、以下のような表示になりますので、「変更」(⑦)をクリックしてください。



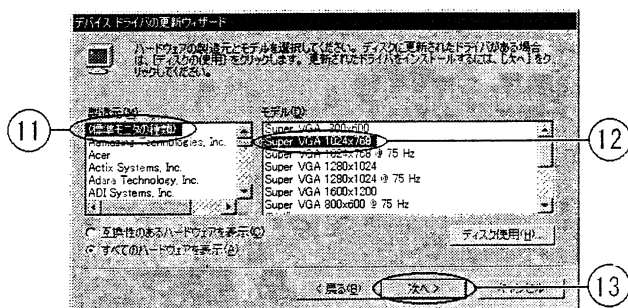
9. 以下のウィンドウが表示されたら、「特定の場所にあるすべてのドライバの一覧を作成し、インストールするドライバを選択する」(⑧)を選択し「次へ>」(⑨)をクリックしてください。



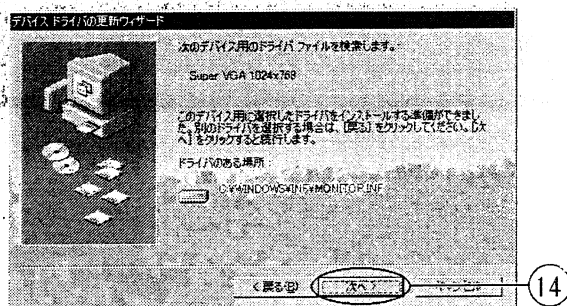
10. 「すべてのハードウェアを表示」(⑩)を選択してください。



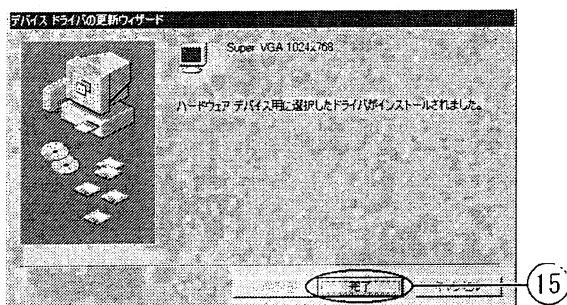
11. 「製造元」から「(標準モニタの種類)」(⑪) を選択してください。
「モデル」から「Super VGA 1024×768」(⑫) を選択してください。
「次へ>」(⑬) をクリックしてください



12. 「次へ>」(⑭) をクリックしてください。



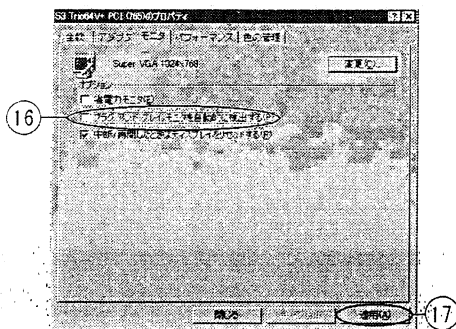
13. 「完了」(⑮) をクリックしてください



14.次に「プラグアンドプレイ モニタを自動的に検出する」(16)のチェックを解除して、モニタのプラグアンドプレイ機能をオフ(使用しない)状態にして下さい。

「適用」(17)をクリックしてください。

「適用」がクリックされると、リフレッシュレートが変更される事を知らせるメッセージが表示されますので、「15」の操作を行なって下さい。(もしここで、「15」のメッセージが表示されない時は、6ページと7ページの「5」「6」と同じ操作で、リフレッシュレートを変更してください)。



15. リフレッシュレートが変更される際、以下のメッセージが表示されますので「OK」をクリックしてください。



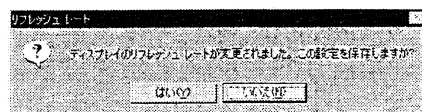
この時、画面が一瞬点滅します。

パソコン専用ディスプレイで、画面が正しく表示されていることを確認して下さい。

テレビ画面を見て、XPC-3で変換したパソコン映像がテレビに正しく表示されていることを確認して下さい。

(もしパソコン専用ディスプレイで画面の表示が乱れるような時は、しばらく待ってください。しばらくすると画面は元に戻ります。その際、画面設定が元に戻るまではキーボードやマウスを絶対に触らないでください。この時、もし間違った操作をすると最悪の場合、画面が全く表示できなくなることがありますのでご注意ください。)

パソコン専用ディスプレイにも、テレビにも映像が正しく表示された時は、以下のメッセージが表示されますので「はい」をクリックします。



これで、リフレッシュレートの変更作業は終わりです。

重要

ビデオカードメーカーが独自に開発しているデバイスドライバや調整ソフトがインストールされている時は、そちらの設定が優先されることがあり、本書に書かれている方法で設定しても、リフレッシュレートを変更できないことがあります。その様な時は、ご使用のビデオカードの取扱説明書をご覧ください設定変更していただくか、各ビデオカードメーカーまたはパソコンメーカーに、「画面のリフレッシュレートの変更方法」をお問い合わせ下さい。

ご注意：リフレッシュレートを60Hzに設定すると、リフレッシュレートが70Hz以上の時に比べ、パソコン専用ディスプレイ(モニタ)に表示された映像がちらつきます。

**DEMPA
MICOMSOFT**